Electrical hazards

今日、日常生活で使用するほとんどのものが電気を使用するものです。
ですから感電から身を守るということはとても大事なのです。 いろいろな場所で異なる沢山の電気事故があります。あるところには高圧電流があったり、またあるところには小さな電気器具があったり、どのような器具から流れる電流に感電しても死にいたる危険性があります。 また感電によって梯子からの転落、火傷などの危険性もあります。電気は可燃性蒸気、ガス、又はほこりなどで簡単に火災を起こします。また 電気が人体に入ると、心肺、頭脳の機能、呼吸器官に影響を及ぼし、 その結果、死や大怪我を引き起こす場合があります。
間違った条件のもとでは、少量の電気さえ死の危険性があります。どんな電気装置も決して安全確認を怠らないでください。感電から身を守るためにいつも電化製品は良い状態に保つことが大切です。そしてどんな小さなことも報告を怠らず修理または新しい物にすることも大切です。電気機器の修理は必ず許可された人が行ってください。素人の修理は死につながります。アースのしっかり取れた電気機器を使用してください。使用する電気機器の容量を確認し許容範囲を超えないように心がけてください。またプラグは三極のものを使用してください。
アースの接続部は確実につながっているか、またワイヤーなどの破損などはないか、屋外や水周りでの家電製品の使用はアウトレットに漏電遮断機がついているかなどの確認をしてください。水に濡れている電化製品は使用しないでください。濡れた手で電化製品またはコード等を触らないでください。プラグをアウトレットから抜くときはコードを引っ張らずに必ずプラグ部分を持ち抜いてください。電気工事をするときはアルミまたは鉄で作られている梯子は使用しないでください。 照明等の交換も同様です。電力線や電動設備などに危険がある場合は、その周りにあるものにも決して接触しないでください。
電気火災の場合は決して水で消火しないで、専用の消火器を使用してください。消火器の場所や使用方法は熟知しておくように、間違った使用方法は爆発のを引き起こす危険があります。どのような作業をしていても、いつも感電事故等に注意をしてください。